

I. 2019年度事業報告（2019年3月1日から2020年2月29日まで）

【公益目的事業】

(1) 会誌「化学と生物」, 論文誌等の刊行を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 学会誌「化学と生物」の発行状況

会誌送付の状況

(2020年2月末現在)

| | 化学と生物 (第58巻, 第2号) | | Biosci.Biotechnol.Biochem (第84巻, 第2号) | |
|--------------------|----------------------|----|--|----|
| | 国内 | 国外 | 国内 | 国外 |
| 名誉会員 | 6 | 1 | 8 | 1 |
| 有功会員 | 70 | 0 | 11 | 0 |
| シニア会員 | 40 | 0 | 10 | 0 |
| 一般会員 | 108 | 0 | 160 | 0 |
| 教育会 | 77 | 0 | 3 | 0 |
| 学生会 | 9 | 0 | 7 | 0 |
| ジュニア会 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 国外会員 | 0 | 6 | 0 | 4 |
| 賛助会 | 98 | 0 | 95 | 0 |
| 団体 | 256 | 0 | 256 | 0 |
| 寄贈・交換 | 17 | 8 | 5 | 10 |
| 追加送本 ^{※1} | 6 | 0 | 4 | 0 |
| 販売 ^{※2} | 480 | 0 | 13 | 27 |
| 広告用 | 20 | 0 | 0 | 0 |
| 事務局保存用 | 30 | 0 | 15 | 0 |
| 計 | 1,218 | 15 | 588 | 42 |
| 総計 | 1,233 | | 630 | |
| 印刷部数 | 1,500 | | 715 | |
| 残部 | 267 | | 85 | |

※1 賛助会員に追加で送本しているもの(有料)

※2 和文誌を刊行している国際文献社, 英文誌を刊行しているTaylor & Francis社がそれぞれ販売しているもの

「化学と生物」掲載頁数（下段は編数）

| | 第53巻 (2015年) | 第54巻 (2016年) | 第55巻 (2017年) | 第56巻 (2018年) | 第57巻 (2019年) |
|--------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 解説 | 351 | 358 | 412 | 392 | 359 |
| | 48 | 48 | 57 | 53 | 49 |
| 講座・セミナー室 | 137 | 197 | 103 | 116 | 217 |
| | 21 | 30 | 15 | 16 | 26 |
| 今日の話題 | 184 | 162 | 186 | 103 | 90 |
| | 66 | 60 | 69 | 39 | 35 |
| バイオサイエンススコープ | 55 | 44 | 47 | 20 | 0 |
| | 11 | 9 | 9 | 4 | 0 |
| 生物コーナー・化学の窓 | 19 | 10 | 0 | 11 | 6 |
| | 4 | 2 | 0 | 2 | 1 |
| トップランナーに聞く | 11 | 6 | 5 | 4 | 9 |
| | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 海外だより・学界の動き | 0 | 11 | 0 | 9 | 22 |
| | 0 | 2 | 0 | 2 | 4 |
| プロダクトイノベーション・ テクノロジーイノベーション | 62 | 33 | 38 | 32 | 28 |
| | 11 | 7 | 6 | 6 | 5 |
| 農芸化学 @High School | 34 | 9 | 24 | 23 | 17 |
| | 12 | 3 | 8 | 7 | 5 |
| 特集号 | | 67 | | 97 | |
| | | 17 | | 20 | |
| その他 | 31 | 35 | 26 | 29 | 28 |
| 印刷頁数(冊子体) | 884 | 932 | 844 | 836 | 776 |

「化学と生物」執筆者へ「化学と生物・クリアファイル」を配布している。

2) 学会誌「Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry」の発行状況

英文誌投稿状況・掲載状況

| 月 | 2019年 | | | | | | | | | | | | | | 2020年 | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-----|
| | 前年末 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 計 | 1 | 2 | 計 |
| 手持数 | 174 | 175 | 170 | 185 | 166 | 176 | 171 | 191 | 183 | 190 | 175 | 182 | 171 | | 174 | 167 | |
| 受理数 | | 72 | 61 | 85 | 62 | 77 | 80 | 89 | 85 | 89 | 82 | 87 | 78 | 947 | 93 | 71 | 164 |
| 掲載数 | | 23 | 23 | 25 | 23 | 22 | 26 | 23 | 25 | 23 | 22 | 30 | 24 | 289 | 24 | 24 | 48 |
| 返却数 | | 48 | 43 | 45 | 58 | 45 | 59 | 46 | 68 | 59 | 75 | 50 | 65 | 661 | 66 | 54 | 120 |
| issue | | 83-02 | 83-03 | 83-04 | 83-05 | 83-06 | 83-07 | 83-08 | 83-09 | 83-10 | 83-11 | 83-12 | 84-01 | | 84-02 | 84-03 | |

英文誌掲載の状況

| | 受理報文数 | | 掲載報文数 | | 返却報文数 | | 年末手持 報文数 | 印刷頁数 (投稿論文) | 印刷部数 | IF |
|-------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------------|----------------|-----------------------|-------|
| | | うち 海外 | | うち 海外 | | うち 海外 | | | | |
| 2015年 | 783 | 419 | 318 | 74 | 461 | 351 | 227 | 2096 (Vol. 79) | 960 (Vol. 79, No. 12) | 1.176 |
| 2016年 | 734 | 392 | 336 | 80 | 447 | 332 | 178 | 2496 (Vol. 80) | 895 (Vol. 80, No. 12) | 1.295 |
| 2017年 | 694 | 360 | 299 | 58 | 412 | 309 | 162 | 2410 (Vol. 81) | 810 (Vol. 81, No. 12) | 1.255 |
| 2018年 | 742 | 422 | 291 | 53 | 439 | 334 | 174 | 2224 (Vol. 82) | 735 (Vol. 82, No. 12) | 1.297 |
| 2019年 | 947 | 669 | 289 | 95 | 661 | 563 | 171 | 2393 (Vol. 83) | 700 (Vol. 83, No. 12) | |
| 増減* | 205 | 247 | -2 | 42 | 222 | 229 | -3 | 169 | -35 | |

* 増減は2018年と2019年の比較

83巻8号に「Expansion and Foresight of Zymology/Zymurgy」の特集号を掲載し、一定期間Free Accessとして無料公開した。

3) 2019年度大会プログラム集は2019年2月25日にPDF版を発行した。

4) 2019年度大会講演要旨集は2019年3月5日にPDF版を発行した。

(2) 学術大会, 講演会等の開催を通じて農芸化学の普及啓発を行う事業

1) 2019年度学会賞等受賞者講演の開催

2019年度日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞・農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の受賞者講演は2019年3月25日に東京農業大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)において開催した。

2) 2019年度大会の開催

2019年度大会は2019年3月24日から27日までの4日間, 東京農業大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)において以下の内容で開催され, 大会参加者数は4,606名であった。

- ・口頭発表による一般講演(1,676題)
- ・ポスター発表(優秀発表)(200題)
- ・シンポジウム(24テーマ・140題)の発表と討論
- ・ランチョンセミナー(11社・11題)
- ・JABEEランチョンシンポジウム「大学の教育改革とその将来像」
- ・男女共同参画ランチョンシンポジウム「一人の社会人として皆が幸せな社会の実現を」
- ・BBBランチョンセミナー「[研究者による自己アピール]〜より広く伝えることの意義」
- ・企業展(24社)
- ・展示会(94社・118小間)
- ・託児ルーム

大会に先立ち, 2019年3月19日に東京(東京大学)において報道各社を招き記者会見を開催した。新聞, 出版各社13社13名に学会及び2019年度大会の広報資料を配布し, 学会長から学会の紹介, 大会実行委員長から大会の全体紹介, さらに広報担当理事からトピックス29演題の紹介, 解説を行った。

2019年度大会におけるトピックス賞として下記29題を表彰した。

- 3D8p03 小池 優 北海道大学大学院農学院
「疎水性プラスチックを強く吸着する *Cladosporium* sp. TPet-1株の分離とその諸性質」
- 1D8a08 加藤由悟 東京大学大学院農学生命科学研究科
「乳酸菌を模倣した金ナノ粒子合成手法の開発」
- 1D2a10 林 祥平 北海道大学大学院工学研究院
「*in vitro*解析による多価不飽和脂肪酸生合成酵素の炭素鎖長制御機構の解明」
- 3D2a13 瀧野純矢 北海道大学大学院理学研究院
「植物ホルモン Abscisic Acidの生合成における新規環化酵素の機能解析—1—」
- 3D4p12 井田和輝 名古屋大学大学院生命農学研究科
「ネコブセンチュウの誘引機構の解明とその応用」
- 3D1a15 田浦寛太 名古屋大学生命農学研究科
「糖結合性天然色素の二量体を用いた真菌の染色」

- 3E2a11 熊野匠人 筑波大学生命環境系
「環状イミン構造を有する β -カルボリンアルカロイド分解酵素の発見」
- 3E2p11 佐藤優太 東京大学大学院農学生命科学研究科
「タマネギ由来催涙因子合成酵素の触媒機構」
- 1B1a05 大池秀明 農研機構
「高脂肪食の時間制限給餌によるSAMマウスの聴覚老化の遅延」
- 3B1a12 陶山達矢 山崎製パン(株)中央研究所
「食後血糖値の予測を目的とした食品の試験管内糖化速度測定法(GR法)の開発」
- 1B1p12 小田裕昭 名古屋大学大学院生命農学研究科
「“スクロース過剰毒性”は消化管を介して脂肪肝と高中性脂質血症を誘導する」
- 3B5p06 田中一己 慶應義塾大学先端生命科学研究科
「米ぬか摂取による大腸炎抑制効果は腸内細菌叢由来トリプトファン代謝物質がもたらす」
- 1B4p14 山本和史 東北大学大学院農学研究科
「糖質制限食の長期摂取が腸内細菌叢や寿命に与える影響」
- 3B4a11 宮口一勢 東京大学大学院農学生命科学研究科
「ラットの幼若期における咀嚼刺激が海馬の遺伝子発現と記憶能力に与える影響」
- 3B4a13 中島健一郎 生理学研究所
「脳幹で甘味を伝達する神経の特定」
- 1B3p07 井上 亮 京都府立大学
「グア豆由来水溶性食物繊維は便秘自閉症スペクトラム障害(ASD)児の腸内環境を改善し, ASD併存症状を緩和する」
- 1C3a05 寺本華奈江 株式会社島津製作所
「ヒトの皮膚常在菌 *Cutibacterium acnes*のMALDI-MSプロテオタイピング」
- 3C3a12 久知良桃花 筑波大学大学院生命環境科学研究科
「空間的・代謝的な相互作用を介した細菌と真菌の新たな相利共生戦略」
- 3C2p14 佐藤賢宏 京都大学大学院農学研究科
「次世代プロバイオティクス *Bacteroides*属細菌による動物宿主由来粘液物質の資化と腸内優占性」
- 3C1a06 今村 翼 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科
「*Phytophthora infestans*遊走子放出阻害物質の同定及びその作用解析」
- 1C1p04 安井瑞稀 筑波大学生命環境系
「米麴におけるコウジカビの破精込みの蛍光イメージング解析」
- 1C1a10 山田康嗣 株式会社ユージェナ, 理研BZP
「ユージェナ油脂生産における硫黄に関する副次的反応の解明」
- 3D7a15 吉田 晃 ヤマサ醤油株式会社

「Cyclic GMP-AMP量産化技術の確立」

3E3a09 長田和樹 東京理科大学基礎工学部

神経性疼痛物質オピオイドの腸管免疫における炎症抑制作用」

1E3p02 六川智博 東京農業大学生命科学部

「ドーパミン D1/5受容体による cAMP 情報伝達経路活性化を介した海馬依存性記憶制御」

3E7p09 國久葉月 秋田県立大学生物資源科学部

「コーヒー原種 *Coffea stenophylla*, *C. millotii*, *C. pseudozanguebariae* からのカフェイン生合成系酵素遺伝子の単離と機能解析」

1E7p04 永嶋鮎美 東京大学, ERATO, 東京工業大学

「植物における匂い受容体候補の発見」

3E5p08 奥村憲史 京都大学大学院農学研究科

「細菌の金属輸送に関わる EfeUOB 系構成アルギン酸結合タンパク質のレアメタル結合性」

1E5p05 安田 充 関西学院大学理工学部

「安定同位体標識ラマンイメージングを用いた糸状菌の代謝ダイナミクスの可視化」

2019年企業研究者活動表彰受賞者を下記のとおり表彰した(15名).

原田 岳 (タカナシ乳業株式会社)

宮澤賢司 (タカナシ乳業株式会社)

山口庄太郎 (天野エンザイム株式会社)

碓 菜穂 (キッコーマン株式会社)

吉井貴宏 (共和化工株式会社)

山村栄虎 (協和ファーマケミカル株式会社)

脇田義久 (サッポロホールディングス株式会社)

前川敏宏 (サントリーウエルネス株式会社)

岸本憲人 (小豆島ヘルシーランド株式会社)

藤野和孝 (長良サイエンス株式会社)

多賀祐喜 (株式会社ニッピ)

新谷知也 (松谷化学工業株式会社)

牧野聖也 (株式会社明治)

渡部 潤 (ヤマサ醤油株式会社)

中島綾香 (株式会社ユグレナ)

3) ジュニア農芸化学会(高校生による研究発表会)の開催
ジュニア農芸化学会(高校生による研究発表会)は2019年度大会期間中の2019年3月25日に東京農業大学(東京都世田谷区)においてポスター発表(75題・75校)が開催された。

4) 第26回農芸化学Frontiersシンポジウムの開催

第26回農芸化学Frontiersシンポジウムは2019年3月27日~28日にレクトーレ湯河原(神奈川県湯河原町)において、講演会・シンポジウムが開催され、95名の参加者があった。

5) 第45回農芸化学「化学と生物」シンポジウムの開催

第45回農芸化学「化学と生物」シンポジウムは「腸内

フローラ研究が拓く新たな健康科学と産業」というタイトルで、2019年3月27日に東京農業大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)において開催され、520名の参加者があった。

6) 分野融合連携シンポジウムの開催

分野融合連携シンポジウムは2019年3月26日に東京農業大学(東京都世田谷区)において、日本機能性食品医学会との合同企画を「食品機能研究を担う両翼—分子メカニズムの解明と臨床応用—」というタイトルで、日本ゲノム微生物学会との合同企画を「農芸化学応用微生物学とゲノム科学の接点」というタイトルで、開催した。

7) サイエンスカフェの開催

*¹京都カラスマ大学と共催, *²三省堂書店と共催, *³名古屋市科学館と共催, *⁴三省堂書店, 日本学術会議農芸化学分科会と共催, *⁵福岡市科学館と共催

1 [第125回]*¹(京都)2019年4月13日「きくのかないのか? コラーゲンのひみつ。」(gallery conywa 錦の家) 講師: 佐藤健司氏, コーディネータ: 木岡紀幸氏 参加者: 20名

2 [第126回](岡山)2019年6月29日「環境を守る! 微生物のメタルバイオテクノロジー」(岡山大学50周年記念館) 講師: 石川彰彦氏 コーディネータ: 金尾忠芳氏 参加者: 29名

3 [第127回](秋田)2019年10月6日「お米と日本酒の味わいについて」(秋田県立大学 図書・情報センター1階 ラーニング・コモンズ) 講師: 橋爪克己氏 コーディネータ: 石川匡子氏 参加者: 26名

4 [第128回]*²(札幌)2019年11月15日「五感のすきまを科学する」(三省堂書店札幌店BOOKS&CAFE(UCC)) 講師: 佐藤真理氏 コーディネータ: 玖村朗人氏 参加者: 25名

5 [第129回]*³(名古屋)2019年11月29日「身体に効くおいしい食肉」(名古屋市科学館キーズカフェ) 講師: 林利哉氏 コーディネータ: 小池田 聡氏 参加者: 37名

6 [第130回]*⁴(東京)2019年11月30日「味を感じる仕組み・おいしさの科学」(三省堂書店神保町本店2階 UCC カフェコンフォート) 講師: 石丸喜朗氏 コーディネータ: 若林素子氏 参加者: 17名

7 [第131回]*⁵(福岡)2020年1月30日「アミノ酸の新パワーを健康に役立てよう!」(福岡市科学館4階交流室) 講師: 古屋茂樹氏 コーディネータ: 廣政恭明氏 参加者: 22名

8) 産学官学術交流フォーラムの開催

産学官学術交流フォーラムは、2019年3月26日に東京農業大学(東京都世田谷区)において以下の内容で開催され、約300名の参加者があった。

・第16回農芸化学研究企画賞研究企画発表会

・第15回農芸化学研究企画賞中間報告会

- ・第14回農芸化学研究企画賞最終報告会
 - ・シンポジウム「2020年以降を目指した新しい価値の創造と産学官連携」
 - ・技術交流会
- 9) 産学官若手交流会（さんわか）セミナーの開催
産学官若手交流会（さんわか）セミナーは以下の通り1回開催した。
- 1 [第34回] タンパク質危機に挑む～代替タンパク質の未来～（2019年12月16日，東京大学 弥生講堂アネックス セイホクギャラリー，参加者約90名）
- 10) 創立100周年記念事業シリーズシンポジウムの開催
創立100周年記念事業シリーズシンポジウムとして，Visionary 農芸化学100 シンポジウムを下記のとおり1回開催を予定したが，台風19号により開催延期となった。
- 1 [Group C: 天然物化学研究領域 第2回シンポジウム] 「これからの天然物化学～生命現象の化学をモノづくりに結ぶまで～」(2019年10月12日，岡山大学 創立五十周年記念館)
- 11) 各支部の講演会等の開催
2019年度の各支部の講演会等は下記のとおり開催された。
- 北海道支部（2件）
- ・2019年度北海道支部第1回講演会（とちかちプラザ・帯広市，2019年7月20日）
 - ・2019年度北海道支部第2回講演会（北大農・札幌市，2019年11月23日～24日）
- 東北支部（3件）
- ・支部70周年シンポジウム「東北から発信する農芸化学研究の新潮流」（東北大，7月13日）
 - ・2019年度支部「若手の会」（弘前，11月8日）
 - ・2019年度支部大会（弘前大，11月9日）
- 関東支部（5件）
- ・バイオサイエンス・スクール2019（日大，8月8日）
 - ・2019年度支部大会（筑波大，9月7日）
 - ・2019年度第1回企業イベント～企業研究員&技術者からのメッセージ～（東大，11月2日）
 - ・2019年度支部例会（農大，12月7日）
 - ・2019年度第2回企業イベント～企業研究員&技術者からのメッセージ～（東京家政大，2月8日）
- 中部支部（4件）
- ・第185回例会・静岡大学食品・生物産業創出拠点第50回研究会
受賞講演およびミニシンポジウム「食品・生物産業の付加価値創造」（静岡大，6月8日）
 - ・2019年度日本農芸化学会 関西・中部支部合同大会
受賞講演および一般講演（神戸大，9月21，22日）
- （神戸大，9月21，22日）
- ・第186回例会 若手シンポジウム「農芸化学を支える微生物研究の力」（信州大，11月4日）
 - ・賛助・協力企業展（名古屋大，11月9日）
- 関西支部（8件）
- ・支部例会（第508回講演会）（京府大，6月1日）
 - ・支部例会（第509回講演会）（阪府大，7月20日）
 - ・日本農芸化学会関西・中部支部2019年度合同神戸大会（第510回講演会）（神戸大，9月21～22日）
 - ・第5回日本農芸化学会関西支部 産学官連携シンポジウム（ヒガシマル醤油株式会社，10月30日）
 - ・JSBBA KANSAI 6th Student Forum（京大，11月30日）
 - ・支部例会（第511回講演会）（神戸大，12月7日）
 - ・賛助企業-学生交流企画「第5回もっと知ろう賛助企業」（京大，2月1日）
 - ・支部例会（第512回講演会）（京大，2月1日）
- 中四国支部（7件）
- ・第29回 若手研究者シンポジウム「第11回農芸化学の未来開拓セミナー」（岡山大，2019年5月24日～25日）
 - ・第54回講演会（例会）（岡山理科大，2019年6月1日）
 - ・第36回 市民フォーラム「バイオテクノロジーってなあに？」（広島，2019年7月27日，8月3日，8月24日，8月31日）
 - ・第30回 若手研究者シンポジウム「若手によるプラントバイオサイエンス」（鳥取大，2019年10月5日）
 - ・第37回 市民フォーラム「愛媛発バイオ研究のニューパワー」（愛媛，2019年10月22日）
 - ・2019年度 西日本・中四国支部合同大会（第55回講演会）（沖縄，2019年11月8日～9日）
 - ・第56回 講演会（例会）（愛媛大，2020年1月25日）
- 西日本支部（5件）
- ・第327回支部例会（熊本，5月31日）
 - ・第56回化学関連支部合同九州大会（第328回講演会）（北九州，7月13日）
 - ・2019年度西日本・中四国支部合同大会（第329回講演会）（琉球大，11月8日～9日）
 - ・第2回学生フォーラム（第330回講演会）（福岡市科学館，11月30日）
 - ・第331回支部例会，支部奨励賞受賞講演，特別講演会（九大，1月25日）
- (3) 表彰を通じて農芸化学の普及啓発・発展を目的とする事業
- 1) 2019年度日本農芸化学会賞，日本農芸化学会功績賞，農芸化学技術賞，農芸化学奨励賞，農芸化学女性研究者賞，農芸化学若手女性研究者賞，農芸化学女性企業研究

者賞を下記のとおり表彰した。

【日本農芸化学会賞】(2件, 50音順)

入江一浩 (京都大学大学院農学研究科)

「アミロイドβの毒性配座理論を基盤としたアルツハイマー病の予防戦略」

及川英秋 (北海道大学大学院理学研究院)

「生合成マシナリー再構築による生理活性物質の生産と多様性創出機構の解明」

【日本農芸化学会功績賞】(2件50音順)

小林哲夫 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

「糸状菌における多糖分解酵素遺伝子群の発現制御に関する研究」

牧 正敏 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

「生体情報応答性カルシウム結合蛋白質およびその相互作用因子に関する構造と機能」

【農芸化学技術賞】(4件, 50音順)

山内靖雄・河合 博 (神戸大学大学院・株式会社ファイトクローム)

「作物の高温耐性を高める揮発性バイオスティミュラント「すずみどり」の開発」

渡邊 光・山本拓生・阿賀 創・西本友之 (株式会社林原)

「新しい水溶性食物繊維イソマルトデキストリン (ファイバリクサ®) の開発」

株式会社 明治

「吸収性に優れ、カラダ作りに最適な革新的乳たんぱく質飲料の開発研究」

永利浩平・園元謙二・善藤威史・手島大輔 (株式会社優しい研究所・九州大学大学院農学研究科・株式会社トライフ)

「乳酸菌バクテリオシン、ナイシンを利用した安全な口腔ケア剤に関する技術開発」

【農芸化学奨励賞】(10件, 50音順)

石丸泰寛 (東北大学大学院理学研究科)

「植物の膜輸送体に導かれる生命現象の解明」

笠井大輔 (長岡技術科学大学工学研究科)

「細菌の酸素添加酵素が関わる代謝系の解析と物質変換技術への応用」

久米一規 (広島大学大学院先端物質科学研究科)

「正常な細胞機能を保証する細胞構造の制御機構に関する研究」

栗原 新 (石川県立大学生物資源環境学部)

「腸内細菌のポリアミン代謝・輸送機構の解明」

高妻篤史 (東京薬科大学生命科学部)

「電気活性細菌のエネルギー代謝と電流生成を制御する分子機構の解明」

兒島孝明 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

「超微細生化学反応系とバイオイノフォマティクスを用いた機能性生体高分子の探索技術の開発」

鈴木道生 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

「バイオミネラリーゼーションを制御する有機基質の構造と機能に関する研究」

藤枝伸宇 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)

「特異な翻訳後修飾アミノ酸を有する金属酵素の機能解析および新規創製」

村井正俊 (京都大学大学院農学研究科)

「ミトコンドリア呼吸鎖複合体-Iの機能解明を目指した生物有機化学的研究」

渡辺 智 (東京農業大学生命科学部)

「シアノバクテリアから見出された増殖機構・環境適応機構の可塑性と有用物質生産への展開」

【農芸化学女性研究者賞】(3件, 50音順)

飯島陽子 (神奈川工科大学応用バイオ科学部)

「植物性食品の香りを主とする質的特性に対するその因子探索とフードメタボロミクスによる展開」

丸山千登勢 (福井県立大学大学院生物資源学研究科)

「抗生物質ストレプトスリシンおよびその類縁化合物の生合成研究で見出した新規ペプチド合成酵素」

室田佳恵子 (島根大学学術研究院)

「食品由来フラボノイドの生体利用性に関わる化学構造の特徴と生体内代謝物の同定」

【農芸化学若手女性研究者賞】(3件, 50音順)

岡谷 (永井) 千晶 (国立研究開発法人産業技術総合研究所生命工学領域)

「生理活性ペプチドの機能解明に向けた生物有機化学的研究」

呉 静 (静岡大学農学部)

「キノコ由来の生物活性2次代謝産物に関する化学的研究」

吉田彩子 (東京大学生物生産工学研究センター)

「アミノ酸代謝酵素を中心とした機能と調節に関する研究」

【農芸化学女性企業研究者賞】(3件, 50音順)

大室 蘭 (アサヒビール株式会社酒類開発研究所)

「ビール酵母の発酵に寄与する因子解明と産業への利用」

田中美順 (森永乳業株式会社素材応用研究所)

「アロエベラ由来ステロールの機能性とその応用に関する研究」

富森菜美乃 (サントリーウエルネス株式会社健康科学研究科)

「ポリフェノールの体内動態に関する研究」

2) 第16回農芸化学研究企画賞は下記のとおり表彰した。

研究領域① 先導的生物活性物質研究と新技術開発 (1件)

甲斐建次 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)

「青枯病菌クオラムセンシング機構を標的にしたトマト萎凋病の予防・治療薬の開発」

研究領域② 食領域における新技術開発 (1件)

渡辺昌規 (山形大学農学部)

- 「環境調和型プロセスにより脱脂米糠から回収・精製された完全アレルギーフリータンパク質及び機能性リン化合物の機能性食品原材料としての用途開発・市場導入に関する研究」
- 研究領域③ グリーンバイオテクノロジー (1件)
吉田信行 (静岡大学工学部)
「微生物の低栄養性に必須なアルデヒド脱水素酵素の工学的利用」
- 3) 2018年B.B.B.論文賞 (13件) を下記のとおり表彰した.
- pp. 161~165 Satoru Watanabe, Hiroaki Ozawa, Hiroaki Kato, Kaori Nimura-Matsune, Toshifumi Hirayama, Fumitaka Kudo, Tadashi Eguchi, Katsumi Kakinuma & Hirofumi Yoshikawa
Carbon-free production of 2-deoxy-scylo-inosose (DOI) in cyanobacterium *Synechococcus elongatus* PCC 7942
- pp. 232~237 Tamako Miyazaki, Katsushi Nakata, Takashi Nishimura, Shintaro Abe, Tetsuro Yamashita & Masao Miyazaki
Identification of 2-phenylethanol with a rose-like odor from anal sac secretions of the small Indian mongoose (*Herpestes auro-punctatus*)
- pp. 274~284 Yi Jun Zhou, Keisuke Fukumura & Shinji Nagata
Effects of adipokinetic hormone and its related peptide on maintaining hemolymph carbohydrate and lipid levels in the two-spotted cricket, *Gryllus bimaculatus*
- pp. 292~303 Tomoko Niwa, Takamasa Suzuki, Yumiko Takebayashi, Rie Ishiguro, Tetsuya Higashiyama, Hitoshi Sakakibara & Sumie Ishiguro
Jasmonic acid facilitates flower opening and floral organ development through the upregulated expression of SIMYB21 transcription factor in tomato
- pp. 356~362 Mitsuhiro Itaya, Miki Hasegawa, Masaru Tomita & Mitsuru Sato
The first high frequency of recombination-like conjugal transfer from an integrated origin of transfer sequence in *Bacillus subtilis* 168
- pp. 407~416 Noriko Morimoto, Kotomi Ueno, Masayoshi Teraishi, Yutaka Okumoto, Naoki Mori & Atsushi Ishihara
Induced phenylamide accumulation in response to pathogen infection and hormone treatment in rice (*Oryza sativa*)
- pp. 689~697 Kyuichi Kawabata, Nobuyuki Baba, Taiken Sakano, Yoshimitsu Hamano, Shu Taira, Akira Tamura, Seigo Baba, Midori Natsume, Takeshi Ishii, Shigeru Murakami & Hajime Ohigashi
Functional properties of anti-inflammatory substances from quercetin-treated *Bifidobacterium adolescentis*
- pp. 709~715 Yui Iwagaki, Saeko Sugawara, Yasuhisa Huruya, Miki Sato, Qiming Wu, Shuang E, Kazushi Yamamoto & Tsuyoshi Tsuduki
The 1975 Japanese diet has a stress reduction effect in mice: search for physiological effects using metabolome analysis
- pp. 1207~1215 Kayo Hanafusa, Hiroki Murakami, Takuya Ueda, Erika Yano, Nobuhiro Zaima & Tatsuya Moriyama
Worm wounding increases levels of pollen-related food allergens in soybean (*Glycine max*)
- pp. 1377~1383 Ayane Kuboyama, Takashi Sasaki, Makoto Shimizu, Jun Inoue & Ryuichiro Sato
The expression of *Transmembrane Protein 100* is regulated by alterations in calcium signaling rather than endoplasmic reticulum stress
- pp. 2021~2029 Takuya Yamaguchi & Yasuhisa Asano
Prunasin production using engineered *Escherichia coli* expressing *UGT85A47* from Japanese apricot and UDP-glucose biosynthetic enzyme genes
- pp. 2118~2129 Seiya Tanaka, Manami Oyama, Miyu Nishikawa, Shinichi Ikushiro & Hiroshi Hara
Simultaneous collection of the portal and superior vena cava blood in conscious rats defined that intestinal epithelium is the major site of glucuronidation, but not sulfation and methylation, of quercetin
- pp. 2168~2175 Mika Nishiuchi, Kumiko Sakai, Hiroyuki Tajima, Kazuo Katayama, Fumiko

- Kimura, Seiko Hoshi, Tomoko Goto, Hitoshi Shirakawa & Michio Komai
Orexigenic action of oral zinc: metabolomic analysis in the rat hypothalamus
- 4) Most-Cited Paper Award を下記のとおり表彰した (1 件, 被引用回数17回).
Vol. 80, No. 8, pp. 1520~1530
Byoung Ok Cho, Hong Hua Yin, Sang Hyun Park, Eui Baek Byun, Hun Yong Ha & Seon Il Jang
Anti-inflammatory activity of myricetin from *Diospyros lotus* through suppression of NF- κ B and STAT1 activation and Nrf2-mediated HO-1 induction in lipopolysaccharide-stimulated RAW264.7 macrophages
- 5) Most-Cited Review Award を下記のとおり表彰した (1 件, 被引用回数32回).
Vol. 80, No. 1, pp. 23~33
Makoto Kawamukai
Biosynthesis of coenzyme Q in eukaryotes
- 6) 2019年度, 支部における各賞を下記のとおり表彰した.
- 【日本農芸化学会北海道支部 奨励賞】1件
玉野孝一 (産業技術総合研究所)
「麹菌など糸状菌による有用代謝産物の生産性向上に関する研究」
- 【日本農芸化学会北海道支部 学生会員奨励賞】2件
堀 将太 (北大院農)
「12 α 水酸化胆汁酸の肝臓鉄濃度低下作用と脂肪肝発症における関与」
前野慎太郎 (東農大院生物産業)
「フルクトフィリック乳酸菌の環境適応」
- 【北海道支部第1回支部講演会 学生優秀発表賞 (ポスター発表)】3件
堀之内詢大 (北大農)
「Nostoc属シアノバクテリアのホルモゴニア分化を強く誘導する C15:1- Δ 8 アナカルド酸デシルエステルとその関連化合物のリパーゼ耐性と HIF 様活性との関連性」
- 李 佳昕 (北大院農)
「ラットへの食用油経口投与による胃排出への影響」
- 丹野広貴 (東京農大)
「酪酸産生菌のフルクトオリゴ糖代謝」
- 【北海道支部第2回支部講演会 学生優秀発表賞 (口頭発表)】3件
佐野杏莉 (北大院農)
「食事誘導性肥満ラットにおける GLP-1 の分泌応答と小腸上部および下部での違い」
- 瀧野純矢 (北大院理)
「植物ホルモンアブシジン酸の全生合成と特異な環化機構の解明」
- 藤岡郁美 (北大院農)
「Bacteroides fragilis由来グリコーゲンシンターゼの機能解析」
- 【日本農芸化学会 東北支部 奨励賞】2件
平 修 (福島大学農学群食農学類)
「イメージング質量分析による生体試料の可視化と食品科学への応用」
- 山田秀俊 (岩手生物工学研究センター生物資源研究部)
「イサダ (ツノナシオキアミ) 脂質に関する研究」
- 【日本農芸化学会 東北支部 若手奨励賞】3件
Nanang Rudianto Ariefta (岩手大学大学院連合農学研究科)
「Study of new metabolites produced by endophytic fungi from Merapi volcano area」
- 清水直紀 (東北大学大学院農学研究科)
「食品・生体中のスクアレン酸化の機序解明と制御」
- 宮澤 拳 (東北大学大学院農学研究科)
「糸状菌の液体培養時の菌糸凝集メカニズムの解明とその発酵生産への応用」
- 【日本農芸化学会関東支部 優秀発表賞 (口頭発表部門)】2件
小山亮祐, 加納結衣, 袴田 航, 平野貴子, 西尾俊幸 (日大院・生資科・生資利用)
「N-結合型糖鎖未成熟化を引き起こす新規ゴルジ体マンノシダーゼ阻害剤の開発と細胞間コミュニケーション阻害剤への応用」
- 桐田 奏, 細川誠二郎 (早大学院・先進理工)
「煙に含まれる発芽促進物質 karrikinolide のグラムスケール合成」
- 【日本農芸化学会関東支部 優秀発表賞 (ポスター発表部門)】3件
野本悌吾¹, 角田達彦¹, 池本光志², 繁森英幸³ (¹筑波大院・生命環境, ²(国)産総研・バイオメディカル, ³筑波大・生命環境)
「Clovamide関連化合物のアミロイドポリペプチド凝集阻害活性および神経細胞保護効果」
- 是恒貴宏¹, 石内絵梨², 手嶋美結², 石田義基², 伊藤政博^{1,2} (¹東洋大院・生命科学, ²東洋大・生命科学)
「高濃度セシウム耐性菌 *Microbacterium* sp. TS-1株の新規セシウム耐性機構の同定」
- 伊藤瑛子¹, 山野博之¹, 前田 哲², 神田恭和², 森 昌樹², 中村英光¹, 浅見忠男¹ (¹東大院・農生科・応生化, ²農研機構・生物機能利用研究部門)
「ストリゴラクトン受容体の過剰発現による病害抵抗性誘導機構の解明」
- 【日本農芸化学会関西支部 第508回講演会 優秀発表賞

(支部長推薦)】1件

浅野優希 (京府大院・生命環境)

「degP 遺伝子破壊による *Meiothermus ruber* H328 株の膜小胞産生能向上に関する研究」

【日本農芸化学会関西支部 第509回講演会 優秀発表賞(支部長推薦)】1件

南 友香梨 (阪府大院・生命環境)

「アンドロゲン受容体ノックアウトマウスの代謝疾患発症に対する抗生物質の影響」

【日本農芸化学会関西支部 第511回講演会 優秀発表賞(支部長推薦)】2件

三川津香沙 (神戸大院・農)

「トマトにおけるキャリステジン生合成経路の解析」

高橋 智 (京大院・農)

「HPLC-ELSD によるヒト ABC タンパク質の脂質排出活性測定手法の確立」

【日本農芸化学会関西支部 第511回講演会 優秀発表賞(賛助企業推薦)】1件

能崎健太 (神戸大院・科学技術イノベーション研)

「新規な3機能性融合マーカーを用いた酵母遺伝子スイッチの組織的開発」

【日本農芸化学会関西支部 第512回講演会 優秀発表賞(支部長推薦)】2件

西原萌華 (神戸大院・農)

「筋細胞の小胞体ストレス応答における HSPB5 の結合分子の探索と機能解析」

三宅俊太郎 (京大院・生命)

「阻害剤を用いた mRNA 代謝制御解析」

【日本農芸化学会関西支部 第512回講演会 優秀発表賞(賛助企業推薦)】1件

佐藤賢宏 (京大院・農)

「子宮内無菌仮説の例外としての B 群連鎖球菌による宿主細胞外多糖の資化」

【日本農芸化学会関西支部 支部技術賞】2件

¹帝塚山大, ²塩野香料株式会社, ³神戸大院・工 (藤村太一郎^{1,2}, 巨海裕之², 遠藤普克², 松山秀人³)

「加工プロセス技術による食品副産・廃棄物の高付加価値創出に関する研究開発」

サントリーウエルネス株式会社 (出雲貴幸, 井田正幸, 前川敏宏, 柴田浩志)

「*Lactobacillus pentosus* S-PT84 株配合食品の開発」

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞】2件

藤井創太郎 (広島大学大学院生物圏科学研究科)

「極限環境生物由来タンパク質の構想および安定化機構に関する研究」

松尾安浩 (島根大学生物資源科学部)

「分裂酵母のストレス応答経路に関する研究」

【日本農芸化学会中四国支部 奨励賞 (学生部門)】41件

宇部尚樹 (鳥取大学大学院連合農学研究科 (鳥取大学配

属))

新谷知也 (愛媛大学大学院連合農学研究科 (香川大学配属))

安部庄剛 (徳島大学大学院先端技術科学教育部)

大塚祐季 (愛媛大学大学院連合農学研究科 (高知大学配属))

大村昂誠 (鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科)

田中 滂 (島根大学大学院自然科学研究科)

小出麻奈 (岡山大学大学院環境生命科学研究所)

森 彩夏 (岡山県立大学大学院保健福祉学研究科)

若槻壮哉 (岡山理科大学理学研究科)

藤井夏鈴 (広島大学大学院生物圏科学研究科)

益村晃司 (広島大学大学院先端物質科学研究科)

古賀武尊 (県立広島大学大学院総合学術研究科)

村林 優 (近畿大学大学院システム工学研究科)

細川拓郎 (山口大学大学院創成科学研究科)

窪田 暉 (水産大学校水産学研究科)

長谷川妙恵 (香川大学大学院農学研究科)

河野美帆 (愛媛大学大学院農学研究科)

中村悠嗣 (徳島大学大学院先端技術科学教育部)

南川遥妃 (高知大学大学院総合人間自然科学研究科)

三井香保 (鳥取大学 農学部共同獣医学科)

富樫佳祐 (鳥取大学 農学部生物資源環境学科)

加藤有紀 (米子工業高等専門学校物質工学科)

原田美帆 (島根大学生物資源科学部)

小坂将太 (岡山大学農学部農芸化学コース)

稲岡 泉 (岡山県立大学保健福祉学部栄養学科)

安達百香 (くらしき作陽大学食文化学部栄養学科)

坂口 陸 (広島大学生物生産学部)

田中 悠 (広島大学工学部)

山口真由 (近畿大学工学部化学生命工学科)

原田春菜 (山口大学農学部生物機能科学科)

大野瑠璃 (山口大学理学部生物・化学科)

谷戸謙太 (山口大学工学部応用化学科)

松下功暉 (水産大学校食品科学科)

上村直輝 (宇部工業高等専門学校物質工学科)

後藤由祐 (香川大学農学部生物分子化学コース)

石井友惟 (香川大学農学部応用生命科学コース)

長森公寛 (愛媛大学農学部応用生命化学コース)

植野実佐子 (徳島大学生物資源産業学部応用生命コース)

高崎 廉 (徳島大学生物資源産業学部食料科学コース)

小野口 隼 (高知大学農林海洋科学部海洋資源科学科)

菰田恵菜 (高知工科大学環境理工学群)

【日本農芸化学会中四国支部 優秀発表賞】5件

Syaefudin Suminto (岡山大学大学院 環境生命科学研究所)

「An Insecticidal Compound Produced by *Pochonia suchlasporia* var. *suchlasporia* TAMA 87」

小沼 瞳 (岡山大学大学院環境生命科学研究所)

- 「[NiFeSe] 型ヒドロゲナーゼの One-Step 精製を目的としたゲノム改変」
- 菊藤香奈 (島根大学大学院自然科学研究科)
「酸化ストレス誘導性細胞死のレドックス制御」
- 長谷川妙恵 (香川大学大学院農学研究科)
「D-グルコシド 3-デヒドロゲナーゼの特異性に関するアミノ酸残基の探索」
- 齊藤美桜 (香川大学農学部)
「キウイフルーツかいよう病菌 biovar 3 の病原性におけるエフェクターの役割」
- 【日本農芸化学会西日本支部 第328回講演会 優秀発表賞】10件
- 扇 世史輝 (長崎大院・水環)
「塩生植物アッケシソウの根圏における必須微量元素マンガンに対する生理応答特性」
- 三谷亮樹 (宮崎大工)
「ニワトリ卵白リゾチームの糖加水分解反応シミュレーション」
- 下村琴音 (九大院・農)
「分裂酵母の細胞質と核に局在するマンノース転移酵素 Omh6p の機能解析」
- 川島万凜 (九大院・農)
「エマルションドロップレットを用いた土壌微生物の培養」
- 佐々木彰吾 (北九大院・国際環境工)
「多糖核酸複合体の新規受容体の探索」
- Md. Rezwanul Haque (九大院・農)
「Molecular characterization and expression analysis of a phosphoserine aminotransferase involving L-serine synthesis from silkworm, *Bombyx mori*」
- 山本雅貴 (崇城大院・工)
「培養細胞で発現されたヒトヘアケラチン K85 と K35 のペアによるフィラメント形成」
- 富岡玲乃 (九大院・農)
「緑茶カテキン EGCG の血管内皮細胞由来エクソソームを介した抗炎症作用」
- 岡本愛華 (九大院・農)
「ヒト大腸がん由来細胞の浸潤における Galanine の機能」
- 中山恵理子 (九大院・農)
「魚油乳化物投与がリンパ脂質輸送に及ぼす影響」
- 【日本農芸化学会西日本支部 第329回講演会 優秀発表賞】12件
- 河原あい (熊本大院・環境共生)
「味噌漬け豆腐由来乳酸菌 *Lactobacillus plantarum* PUK6 が生産する多成分バクテリオシンの遺伝子解析」
- Suminto Syaefudin (岡山大院・環境生命)
「An Insecticidal Compound Produced by *Pochonia suchlasporia* var. *suchlasporia* TAMA 87」
- 高島智也 (鹿児島大院・連農)
「シダ植物 *Pteris ryukyuensis* 由来キチナーゼの抗真菌活性と LysM ドメインの多連結化による影響」
- 小沼 瞳 (岡山大院・環境生命)
「[NiFeSe] 型ヒドロゲナーゼの One-Step 精製を目的としたゲノム改変」
- 菊藤香奈 (島根大院・自然科学)
「酸化ストレス誘導性細胞死のレドックス制御」
- 長谷川妙恵 (香川大院・農)
「D-グルコシド 3-デヒドロゲナーゼの特異性に関するアミノ酸残基の探索」
- 齊藤美桜 (香川大院・農)
「キウイフルーツかいよう病菌 biovar 3 の病原性におけるエフェクターの役割」
- 竹下菜津子 (九大院・生資環)
「肝臓特異的 67-kDa laminin receptor ノックアウトマウスの作製とその表現型解析」
- 三島梨子 (九大院・生資環)
「出生・育児環境が乳幼児期の腸内真菌叢形成に及ぼす影響」
- 松永夏実 (近畿大院・産理工)
「長鎖ノンコーディング RNA による頭頸部癌細胞の増殖制御機構の解明」
- 山下諒子 (九大院・生資環)
「酢酸菌の生産する希少糖 5-ケトフルクトースを介した酵母との相互作用解析」
- 中村恵理 (鹿児島大院・農)
「麹菌における推定クエン酸輸送体 CexA の解析」
- 【日本農芸化学会西日本支部 第330回講演会 優秀発表賞】3件
- 篠田あかり (九大院・農)
「Comparison of the gut microbiota of Mongolian with five Asian countries」
- 渡邊麻衣 (九大院・農)
「Study on the association of gut microbiota and its metabolites with obesity in Filipino adults」
- Zhang Min (九大院・農)
「Dynamics of physicochemical and bacterial characteristics in the autothermal thermophilic aerobic digestion process equipped with two types of aeration systems」
- 【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞 (学生の部)】2件
- 門岡千尋 (鹿児島大学大学院連合農学研究科応用生命科学専攻)
「白麹菌のクエン酸高生産機構に関する研究」
- 高島智也 (鹿児島大学大学院連合農学研究科応用生命科学専攻)
「植物の生産する抗真菌酵素の構造と機能の解析」
- 【日本農芸化学会西日本支部 奨励賞 (一般の部)】1件

吉崎由美子（鹿児島大学農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター）

「紅麹菌および紅麹の発酵食品利用に向けた特徴解明」

(4) 助成金・補助金・交付金の交付を通じて農芸化学の発展を目的とする事業

1) 農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞の助成※100周年記念事業

2019年度の農芸化学女性研究者賞, 農芸化学若手女性研究者賞の各3件に助成した。

[農芸化学女性研究者賞] 3件 3,000,000円

[農芸化学若手女性研究者賞] 3件 1,500,000円

2) 農芸化学研究企画賞の助成 ※100周年記念事業（一部）第16回農芸化学研究企画賞の3件に6,000,000円を助成した。第16回農芸化学研究企画賞の助成金へ下記17社より26口の御寄附をいただいた。アサヒグループホールディングス(株)(当時), 味の素(株), 天野エンザイム(株), (株)カネカ, キッコーマン(株), 協和発酵キリン(株), キリン(株), 月桂冠(株), サッポロホールディングス(株)(当時), サントリーウエルネス(株), 第一三共(株), 日東薬品工業(株), 長谷川香料(株), (株)明治, 森永乳業(株), ヤマサ醤油(株), ライオン(株)

3) 研究奨励金, 国際会議出席費補助金の助成

第47回 研究奨励金 5件2,500,000円

小笠原泰志（北海道大学大学院工学研究院）

「キャリアタンパク質結合型中間体の同定を基盤とした抗腫瘍抗生物質マイトマイシンの生合成研究」500,000円

高妻篤史（東京薬科大学生命科学部）

「微生物代謝の電気制御による発酵プロセスの促進」500,000円

岩崎 崇（鳥取大学農学部）

「機能性リポソームを利用したオルガネラ育種技術の開発」500,000円

柘植陽太（金沢大学新学術創成研究機構）

「糖消費速度を感知する代謝センサーの探索」500,000円

西脇 寿（愛媛大学大学院農学研究科）

「緑色昆虫色素の構造解明」500,000円

第72回 国際会議出席費補助金 2件400,000円

【一般枠】1件200,000円

川崎常臣（東京理科大学理学部）

「ナノスケールのキラリティー」(2019/10/13～10/17 スイス連邦, アスコナ) 200,000円

【院生枠】1件200,000円 ※100周年記念事業

玄 成秀（東京農業大学大学院農学研究科・農芸化学専攻 博士2年）

「米国細胞生物学会議/欧州分子生物学会議」(2019/12/7～12/11 米国, ワシントン DC) 200,000円

第73回 国際会議出席費補助金 2件400,000円

【一般枠】1件200,000円

太田尚子（日本大学短期大学部食物栄養学科）

「第15回 国際フードハイドロコロイド会議」(2020/3/2～3/5 オーストラリア, メルボルン) 200,000円

【院生枠】1件200,000円 ※100周年記念事業

運天優歩（京都大学大学院農学研究科・博士1年）

「第21回ヨーロッパ生体エネルギー会議, EBEC2020」(2020/8/22～8/27 フランス, エクス=アン=プロヴァンス) 200,000円

4) 外国人等講演会の開催補助

申請が3件あり, 採択した。

1 [No. 559]「Vadim A. Soloshonok先生学術講演会」(2019/7/29, 山形大学工学部百周年記念会館セミナー室)《後援》参加者40名, 補助総額50,000円

2 [No. 560]「CHANG Ta Yuan先生 (Geisel School of Medicine at Dartmouth) 講演会」(2019/9/17, 東京大学大学院農学生命科学研究科)《協賛》参加者50名, 補助総額30,000円

3 [No. 561]「第15回 機能性糖鎖研究講演会」(2019/10/4, 鳥取大学湖山キャンパス)《協賛》参加者30名, 補助総額41,391円

5) 国際シンポジウムの開催補助

申請が3件あり, 1件採択した。

1 [No. 29]「第8回栄養とエイジング国際会議 The 8th International Conference on Nutrition and Aging」(2019/10/1～2, 国際連合大学5F ウタント国際会議ホール)《協賛》参加者301名, 補助総額400,000円

6) 藪田講演会の開催補助

2019年度の申請はなかった。

7) 藪田セミナーの開催補助

2019年度の申請はなかった。

8) 学校教育における農芸化学の普及活動の補助

2019年度の申請はなかった。

9) 中学校・高等学校への出前授業

2019年度は下記のとおり, 全3回開催した。

1 [第57回] 2019年9月26日(木) 宮城県富谷高等学校「持続可能な社会を目指すために, 高校生にできることは何か」講師: 溝口忠昭氏(前東北大学教授), 西野徳三氏(東北大学名誉教授), 遠藤銀朗氏(東北学院大学工学総合研究所・客員教授) 聴講者: 生徒280名

2 [第58回] 2019年10月9日(水) 名古屋市立工業高等学校「レモン大学～食品の科学からレモンを通したSDGsへの取り組み～」講師: 小島一剛氏(ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社) 聴講者: 生徒39名

3 [第59回] 2019年11月19日(火) 八幡市立男山東中学校「甘味から苦味への体験とそのメカニズム」講師: 林由桂子氏(京都大学大学院 農学研究科) 聴講者: 生徒123名

10) 支部所属の会員へ研究会開催のための補助

北海道支部：5件 補助総額50,000円

- ・講演会「Challenges and Opportunities for Natural Products and Drug Discovery in the Genomic Era」

(2019年6月27日, 北海道大学工学部) 10,000円

- ・講演会「オリゴ糖の取り込み・代謝機構から考える腸内細菌の適応進化戦略」

(2019年7月10日, 北海道大学農学部) 10,000円

- ・講演会「合成生物学的手法による有用物質の発酵生産」

(2019年11月6日, 北海道大学農学部) 10,000円

- ・講演会「“三年味噌に余念なし”～発酵の魅力が会社人生を支えた」

(2020年2月6日, 北海道大学農学部) 10,000円

- ・講演会 化学物質の分布可視化

(2020年2月27日, 北海道大学農学部) 10,000円

東北支部：1件 補助総額 100,000円

- ・東北大学大学院農学研究科放射光関連シンポジウム「次世代放射光施設と食・農の未来」(2020年1月8日(水), 東北大学青葉山 commons 大講義室), 100,000円

関東支部：3件 補助総額300,000円

- ・「第14回バイオミネラルゼーションワークショップ」(2019年11月8日～9日, 東京大学大気海洋研究所) 100,000円

- ・「第18回微生物研究会」(2019年11月9日, 立教大学池袋キャンパス) 100,000円

- ・「第6回天然物化学研究会シンポジウム」(2019年11月22日, 東京農業大学世田谷キャンパス) 100,000円

中部支部：3件 補助総額 100,000円

- ・「第20回静岡ライフサイエンスシンポジウム」(2019年3月2日, 静岡県立大) 30,000円

- ・「第8回植物二次代謝フロンティア研究会」(2019年10月19～21日, 長野県松本市 薬師平茜宿舎ホール) 20,000円

- ・「第12回北陸合同シンポジウム」(2019年10月25, 26日, 福井県あわら市) 50,000円

関西支部：2件 補助総額200,000円

- ・「酵素・補酵素研究会2019」(2019年7月4日, ホテルアウイーナ大阪) 100,000円

- ・「みそサイエンス研究会シンポジウム：みその機能性探索と微量成分のふしぎ」(2019年9月25日, 京大・益川ホール) 100,000円

西日本支部：2件 補助総額46,420円

- ・「第2回学生フォーラム参加旅費補助 1名 4,710円

- ・「第331回支部例会参加旅費補助 2名 41,710円

11) 支部所属の学生会員へ年次大会等への参加旅費の補助
北海道支部

2019年度大会(東京)参加補助金

21名(そのうち新規入会学生9名) 補助総額756,000円

東北支部

2019年度 東北支部若手の会参加費減額のため

学生参加費補助5000円・48名 補助総額240,000円

中四国支部

講演会参加補助金として, 学生会員5名 補助総額106,630円

【その他の事業】

(1) 事業活動の公開と情報発信事業

1) ホームページ及びパンフレットによる本会の活動内容等の公開(日本語版・英語版)し, 日本語版の学会ホームページから誰でも検索可能できる農芸化学関連大学大学院の研究科一覧の更新手段の検討を開始した。

2) ニュースメール及びSNSの活用, 本会の活動内容等の逐次発信

2019年はメールアドレス登録会員向けニュースメールを27回配信した。メールアドレス登録者は2020年2月現在約6,981名である。

支部の会員に限定し, 支部からの案内メールを下記のとおり配信した。

北海道支部11回, 東北支部7回, 関東支部13回, 中部支部5回, 関西支部8回, 中四国支部22回, 西日本支部10回。

ニュースメール, 支部案内メールとは別に, 講演会やセミナーの案内, 各委員会からのお知らせ等のメール配信を1回配信した。

サイエンスカフェの開催情報をツイッター及びフェイスブックで発信した。

3) 内外の関連機関と会誌の寄贈・交換

2019年の会誌の寄贈・交換は下記のとおりである。

[和文誌の寄贈・交換] 25件(国内17件, 海外8件)

国内:

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ・国会図書館 | ・農林水産省図書館 |
| ・科学技術振興機構 | ・工業所有権情報研修館 |
| ・国際医学情報センター | ・日本化学会 |
| ・日本生化学会 | ・日本生物工学会 |
| ・日本地質学会 | ・日本薬学会 |
| ・繊維学会 | ・日本香料協会 |
| ・バイオインダストリー協会 | ・有機化学合成協会 |
| ・山陽技術振興会 | ・科学新聞 |
| ・UBMメディア(株)「食品と開発」編集部 | |

海外:

- ・中国農業化学会(台)
- ・The British Library(英)
- ・The Science Library Science Museum(英)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences(中)
- ・The Library of Chinese Academy of Sciences(中)
- ・Chemical Abstracts Service(米)
- ・USDA National Agricultural Library(米)
- ・Russian Academy of Sciences Library(露)

[英文誌の寄贈・交換] 15件 (国内5件, 海外10件)

国内:

- ・国会図書館
- ・科学技術振興機構
- ・工業所有権情報研修館
- ・日仏工業技術会
- ・日本薬学会

海外:

- ・The British Library (英)
- ・China National Chemical Information Center (中)
- ・Library Chinese Academy of Agricultural Sciences (中)
- ・The Library of Congress Asian Middle Eastern division (米)
- ・The Institute of Scientific Information Russia Academy of Sciences (露)
- ・Russian Academy of Sciences Library (露)
- ・The Library Publications & Information Directorate (印)
- ・Institute of Organic Chemistry & Biochemistry (チェコ)
- ・Agricultural Science in Finland (フィンランド)
- ・I.N.R.A.C.R.de Jouy-en-Josas Domainede Vilvert Unite Centrale de Documentation (仏)

4) フェロー制度を活用, 本会の発展に顕著な貢献をなした正会員の功績を称えらるとともに, 本会の更なる発展へ向けての活動を嘱する。

2019年度新たな承認はなかった。現在100名の承認者となっている。

[2014~2018年度承認100名]

麻田恭彦, 浅野泰久, 安達修二, 阿部啓子, 安部康久, 池田郁男, 伊藤幸成, 稲垣賢二, 井上國世, 植田和光, 内海俊彦, 内海龍太郎, 生方 信, 裏出令子, 江坂宗春, 遠藤銀朗, 大澤俊彦, 大島敏久, 大東 肇, 長田裕之, 小鹿 一, 尾添嘉久, 小田耕平, 加藤陽治, 加納健司, 上村一雄, 河合富佐子, 河岸洋和, 川端 潤, 神崎 浩, 木曾 真, 北島直文, 北本勝ひこ, 木村 誠, 工藤俊章, 久原 哲, 熊谷日登美, 河野憲二, 後藤俊男, 小林哲夫, 駒井三千夫, 五味勝也, 小山泰二, 齋藤忠夫, 澤 嘉弘, 沢村正義, 重岡 成, 清水(肖)金忠, 新免芳史, 水光正仁, 須貝 威, 菅沼俊彦, 關谷次郎, 園元謙二, 平 秀晴, 田中啓司, 田之倉 優, 土屋英子, 寺尾純二, 徳田 元, 戸坂 修, 中野長久, 中村保典, 西田律夫, 早川 茂, 林 英雄, 原 博, 深見治一, 福田恵温, 福田雅夫, 伏木 亨, 藤田泰太郎, 古川謙介, 前島正義, 牧 正敏, 正木春彦, 松井博和, 松尾憲忠, 松下一信, 松田 譲, 松本正吾, 宮川都吉, 宮澤陽夫, 三輪清志, 三輪 操, 村田幸作, 森 信寛, 柳田晃良, 山田耕路, 山田 守, 山根久和, 山本憲二, 山本万里, 横井川久己男, 横関健三, 横田明穂, 横田孝雄, 吉澤結子, 吉田 稔, 依田幸司

5) 農芸化学領域における重点領域分野を検討し, 積極的

に推進した。

(2) 関連学協会, 産業界, 官界等との連携・協力の推進事業

- 1) 日本学術会議の活動に「日本学術会議協力学術研究団体」として密接に連携した。
- 2) 日本学術会議農芸化学分科会との連携を強化した。
2019年度に開催したサイエンスカフェのうち, 第130回「味を感じる仕組み・おいしさの科学」を日本学術会議農芸化学分科会との共催とした。
- 3) 日本農学会に評議員, 運営委員として会員を派遣し, 活動した。
2019年度に開催された日本農学会運営委員会に庶務理事が出席し, 日本農学会評議員会に会長, 副会長が出席した。また2020年度日本農学賞に本会から1件を推薦した。
- 4) 農学会の農学教育推進委員会に委員として会員を派遣し, 活動した。
農学会の農学教育推進委員会及び農学一般関連分野審査委員会にJABEE対応委員長が出席した。
また, 第18回日本農学進歩賞に本会から2件を推薦した。
- 5) 日本技術者教育認定機構(JABEE)の農学一般関連分野, 生物工学関連分野ともに, 審査プログラムがなかったことから, 審査員・オブザーバー等の派遣はなかった。
- 6) 農学会の農学教育推進委員会が主催した「JABEE基準改定に関する勉強会」に本会会員が出席した。
- 7) 化学情報協会の正会員として, 活動した。
- 8) 日本国際食品科学工学連合に会員として参加した。
- 9) 日本光生物学協会に委員として会員を推薦し, 活動した。
日本光生物学協会委員会に本会会員1名が出席した。
- 10) 日本微生物学連盟に会員, 理事として参加し, 活動した。
日本微生物学連盟理事会に本会代表として出版担当理事が出席した。
- 11) 日本昆虫科学連合に会員として参加し, 活動した。
日本昆虫科学連合総会・シンポジウムに本会会員2名が出席した。
- 12) 男女共同参画学協会連絡会に会員として参加し, 活動した。
・男女共同参画学協会連絡会運営委員会にダイバーシティ推進委員が出席した。
・加盟学会の2019年女性比率調査について本会の結果を報告した。
・男女共同参画学協会連絡会シンポジウム特設サイトに本会の活動報告ポスターを掲載した。
・女子中高生夏の学校2019にダイバーシティ推進委員1名が参加し, 本会の活動を紹介するポスター発表を行っ

た。
 ・2019年11月より幹事学会に就任した。
 13) 生物科学学会連合に会員として参加，活動した。
 生物科学学会連合定例会議に本会代表として庶務担当理事が出席した。

14) 国内学術集会の共催・協賛・後援

【2019年】(58件)

・“未来へのバイオ技術”勉強会「東京五輪への課題シリーズ3：アンチ・ドーピング」(東京)《後援》(4月25日)
 ・量子生命科学研究会第3回研究集会／量子生命科学会第1回大会(東大)《後援》(5月23日)
 ・第24回高分子ゲル研究会講座(名工大)《協賛》(5月27日)
 ・“未来へのバイオ技術”勉強会「未来の食のアドベンチャー～培養肉，昆虫食，熟成肉」(東京)《後援》(5月29日)
 ・第64回低温生物工学会大会(つくば)《後援》(6月1日～2日)
 ・未来を拓く高圧力科学技術セミナーシリーズ(44)「生活を豊かにする高圧技術と応用展開」(横浜)《後援》(6月14日)
 ・2019年度前期(春季)有機合成化学講習会(東京)《協賛》(6月18日～19日)
 ・バイオエンジニアリング研究会講演会「バイオ医薬品の連続生産の現状と課題」(東京)《後援》(6月19日)
 ・“未来へのバイオ技術”勉強会「牛馬のゲノム科学・遺伝学研究」(東京)《後援》(6月20日)
 ・“未来へのバイオ技術”勉強会「東京五輪への課題シリーズ4：SDGsと感染症サーベイランス」(東京)《後援》(7月3日)
 ・第31回万有札幌シンポジウム(北大)《後援》(7月6日)
 ・セルロース学会第26回年次大会(福岡大)《協賛》(7月11日～12日)
 ・日本包装学会第28回年次大会(東大)《後援》(7月11日～12日)
 ・第二回天然ゴム研究会シンポジウム(横浜)《後援》(7月19日)
 ・第14回トランスポーター研究会年会(北大)《後援》(7月20日～21日)
 ・微生物ウィーク2019(東大)《協賛》(7月22日～27日)
 ・極限環境生物学会第20回シンポジウム「極限的应用～応用研究の中のベーシックサイエンス」(東大)《後援》(8月3日)
 ・“未来へのバイオ技術”勉強会「ゲノム編集技術による植物育種と食品開発のゆくえ」(東京)《後援》(8月22日)
 ・日本学術会議公開シンポジウム「土と持続可能な開発目標(SDGs)ーアフリカの土・市街地の土ー」(東京)《協賛》(9月2日)

・JASIS2019(幕張)《後援》(9月4日～6日)
 ・“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱14：彩飾賢微の医療・ヘルスケア材料」(東京)《後援》(9月11日)
 ・2019年度日本冷凍空調学会年次大会(東京海洋大)《後援》(9月11日～13日)
 ・第36回シクロデキストリンシンポジウム(神戸学院大)《共催》(9月12日～13日)
 ・講演会「プラスチック問題ー資源循環社会に向けての化学からの新たな取り組み」(東京)《後援》(9月13日)
 ・第61回日本環境化学会講演会「コメ中無機ヒ素をめぐる諸問題」(東京)《後援》(9月18日)
 ・第33回カロテノイド研究談話会と若手の会(千葉大)《後援》(9月21日～23日)
 ・“未来へのバイオ技術”勉強会イブニング懇話会「海外バイオとエコビジネス・勝利の方程式」(東京)《後援》(9月25日)
 ・未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西(大阪)《後援》(9月26日)
 ・生物発光化学発光研究会第35回学術講演会(産総研)《後援》(10月5日)
 ・第25回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会(大阪)《後援》(10月8日～9日)
 ・大豆のはたらき in 東京ー大豆に関わった40年・未来への提言ー(東京)《後援》(10月12日)
 ・第66回界面科学部会秋季セミナー～サステナブルに貢献する界面科学～(横須賀)《後援》(10月17日～18日)
 ・第60回高圧討論会(札幌)《後援》(10月23日～25日)
 ・第60回機器分析講習会第2コース：HPLCとLC/MSの基礎と実践(慶應大)《後援》(10月23日～25日)
 ・第88回日本醤油研究発表会(和歌山大会)(和歌山)《後援》(10月24日)
 ・第55回熱測定討論会(近畿大)《後援》(10月24日～26日)
 ・第17回日本糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム(京都)《後援》(10月29日～30日)
 ・第13回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム(産総研)《後援》(10月30日～11月1日)
 ・第116回有機合成シンポジウム(早稲田大)《協賛》(10月31日～11月1日)
 ・日本希土類学会第37回講演会(横浜)《後援》(11月6日)
 ・日本清涼飲料研究会第29回総会・研究発表会(東京)《後援》(11月8日)
 ・認定NPO法人総合画像研究支援(IIRS)創立十五周年記念シンポジウム(東大)《後援》(11月8日)
 ・第18回食品レオロジー講習会ー初心者のための実習と基礎：食感・風味の制御に向けてー(東大)《後援》(11月7日～8日)
 ・第24回静岡健康・長寿学術フォーラム(静岡)《後援》

- (11月9日～10日)
- ・第19回基準油脂分析試験法セミナー (東京)《後援》(11月14日～15日)
 - ・第3回オレオマテリアル学術交流会 (東京理科大)《後援》(11月18日)
 - ・2019年度 後期 (秋季) 有機合成化学講習会 (東京)《協賛》(11月21日～22日)
 - ・第57回粉体に関する討論会 (広島)《後援》(11月25日～27日)
 - ・第46回炭素材料学会年会 (岡山大)《後援》(11月28日～30日)
 - ・公開シンポジウム「東日本大震災に係る食料問題フォーラム 2019」(福島大)《後援》(11月30日)
 - ・原子力総合シンポジウム 2019 (東京)《後援》(12月2日)
 - ・第46回有機典型元素化学討論会 (松山大)《後援》(12月5日～7日)
 - ・新学術領域研究「生合成リデザイン」第七回公開シンポジウム (北里大)《後援》(12月6日～7日)
 - ・日本ハーブ療法研究会 第7回学術集会 (埼玉大)《後援》(12月8日)
 - ・新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第6回公開シンポジウム (慶應大)《後援》(12月9日～10日)
 - ・理研シンポジウム 第20回 分析・解析技術と化学の最先端 (理研)《後援》(12月11日)
 - ・日本トリプトファン研究会第39回学術集会 (千葉大)《後援》(12月14日～15日)
 - ・革新的環境技術シンポジウム 2019～脱炭素社会に向けたチャレンジ～ (東大)《後援》(12月18日)
- 【2020年】(41件)**
- ・“未来へのバイオ技術”勉強会「地震減災と微生物～津波減災、液状化対策、地震波軽減」(東京)《後援》(1月10日)
 - ・第31回高分子ゲル研究討論会 (産総研)《協賛》(1月16日～17日)
 - ・第25回高専シンポジウム in Kurume (久留米)《協賛》(1月25日)
 - ・バイオエンジニアリング研究会 公開講演会「AI型バイオエンジニアリング～AIの関わる社会進化論～日本が世界で生き残るためのキーテクノロジーを考える」(早稲田大)《後援》(1月31日)
 - ・第22回健康栄養シンポジウム (お茶の水女子大)《後援》(2月8日)
 - ・第93回日本細菌学会総会 (名古屋)《後援》(2月19日～21日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオの匠～未来へつなぐ技術伝承」(東京)《後援》(2月21日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「最新ネコねこバイオロジー」(東京)《後援》(2月28日【延期】)
 - ・第八回低温・氷温研究会 (米子)《後援》(2月29日)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「未病マーカー」(東京)《後援》(3月6日【延期】)
 - ・日本原子力学会シンポジウム (東京)《共催》(3月7日)
 - ・19-1高分子と水・分離に関する研究会および2019年度界面動電現象研究会 (東大)《後援》(3月9日)
 - ・第66回プラスチックフィルム研究会講座 (東京工業大)《後援》(3月10日)
 - ・熱測定スプリングスクール 2020 (第84回熱測定講習会) (星薬科大)《後援》(3月12日～13日【中止】)
 - ・“未来へのバイオ技術”勉強会「非破壊・非侵襲技術の社会実装」(東京)《後援》(3月17日【延期】)
 - ・大豆のはたらき in 東京 (東京)《後援》(3月21日【中止】)
 - ・新学術領域研究「生合成リデザイン」第8回公開シンポジウム (第2回日独生合成シンポジウム) (静岡)《後援》(4月2日～3日)
 - ・第31回万有仙台シンポジウム (仙台)《後援》(5月2日【延期】)
 - ・第36回希土類討論会 (札幌)《後援》(5月19日～20日【中止】)
 - ・「食品マイクロコロイドセミナー2020」第31回食品マイクロコロイドシンポジウム (東京海洋大)《後援》(5月20日～21日【延期】)
 - ・第30回記念万有福岡シンポジウム (九州大)《後援》(5月23日【延期】)
 - ・第21回マリンバイオテクノロジー学会大会 (農工大)《後援》(5月30日～31日【延期】)
 - ・第65回低温生物工学会大会 (京都)《後援》(5月30日～31日【中止】)
 - ・第117回有機合成シンポジウム (九州大)《協賛》(6月4日～5日【延期】)
 - ・第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム (大阪大)《後援》(6月6日～7日【延期】)
 - ・新規素材探索研究会 第19回セミナー (新横浜)《後援》(6月12日【中止】)
 - ・日本ゾル-ゲル学会第17回セミナー (大阪府立大)《後援》(6月12日【延期】)
 - ・新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第7回公開シンポジウム／第5回若手シンポジウム (東北大)《後援》(6月21日～23日【延期】)
 - ・2020年度 前期 (春季) 有機合成化学講習会 (東京)《協賛》(6月22日～23日【延期】)
 - ・第55回天然物化学談話会 (九州大)《後援》(6月25日～27日【延期】)
 - ・第57回アイソトープ・放射線研究発表会 (東大)《後援》(7月7日～9日【中止】)
 - ・セルロース学会第27回大会年次大会 (北海道大)《後援》(7月9日～10日【中止】)
 - ・第10回高校生バイオサミット in 鶴岡 (慶應大)《後援》

(8月24日～26日)

- ・第56回熱測定討論会(早稲田大)《後援》(9月9日～11日)
- ・第62回天然有機化合物討論会(名古屋大)《共催》(9月22日～24日)
- ・第49回複素環化学討論会(長野)《後援》(9月24日～26日)
- ・第68回レオロジー討論会(岩手)《後援》(10月21日～23日)
- ・第64回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会(第64回TEAC討論会)(静岡大)《後援》(10月24日～26日)
- ・日本ゾルゲル学会第18回討論会(名古屋大)《後援》(11月9日～10日)
- ・第57回ペプチド討論会(鳥取)《後援》(11月9日～11日)
- ・第39回日本糖質学会年会(お茶の水女子大)《後援》(11月21日～23日)

15) 和食文化国民会議に会員として参加した。

16) その他外部団体との連携

- ・日本学術振興会 第10回育志賞に本会から1件を推薦した。
- ・令和2年度文部科学大臣表彰科学技術賞の開発部門に本会から1件を推薦した。
- ・第41回沖縄研究奨励賞に本会から1件を推薦した。
- ・2019年度飯島藤十郎食品科学賞に本会から1件、飯島藤十郎食品技術賞に1件を推薦した。
- ・第60回東レ科学技術賞に本会から1件を推薦した。
- ・内藤記念科学振興財団へ2020年度選考委員3名を推薦した。

(3) 関連する国際協力の推進事業

1) 国際学術集会の共催・協賛・後援

【2019年】(7件)

- ・International Symposium on Bio-CHAINS from Single Molecules to Highly Organized Systems(岐阜)《後援》(6月3日～4日)
- ・第15回国際好熱菌学会(九州大)《後援》(9月2日～6日)
- ・プロテイン・アイランド・松山2019(愛媛大)《後援》(9月10日～11日)
- ・第28回日本バイオイメーシング学会学術集会第6回国際バイオイメーシングシンポジウム(帝京大)《後援》(9月21日～23日)
- ・第8回「栄養とエイジング」国際会議(東京)《協賛》(10月1日～2日)
- ・The 6th International Symposium on Diffraction Structural Biology (ISDSB2019)(大阪大)《後援》(10月17日～20日)
- ・The 7th International Symposium on Transformative Bio-Molecules(名古屋大)《後援》(12月13日)

【2020年】(2件)

- ・第6回アジア環太平洋蛋白質科学国際会議6th Asia Pacific Protein Association International Conference(札幌)《後援》(7月7日～10日)
 - ・第25回名古屋メダルセミナー(名古屋大)《後援》(5月29日【延期】)
- 2) 国際栄養学会議と連携した。

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) 最高裁判所及び東京地方裁判所に知的財産専門委員候補者3名を推薦し、協力した。

【総会、理事会、委員会の開催】

2019年度(2019年3月1日から2020年2月29日)は下記のとおり開催した。

・総会

第66回(2019年度)定時総会を2019年5月30日、東京大学中島董一郎ホール(東京都文京区)において開催し、次の議案を可決した。

第1号議案 理事及び監事の選任の件

第2号議案 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認の件

第3号議案 定款の変更の件

第4号議案 名誉会員の承認の件

・理事会(6回)

5月9日: ①2018年度事業報告書承認, ②2018年度計算書類承認, 及び監査報告, ③通常総会開催

5月30日: ①入会員の承認, ②授賞選考委員会委員の辞任に伴う後任委員の選出, ③化学と生物誌の在庫処分, ④化学と生物誌のクリアファイル(原稿謝礼)の更新, ⑤化学と生物誌の外販契約, ⑥外部団体の理事の選出, ⑦各種規程等の変更案, ⑧監査人契約の更新, ⑨事務局人事・初任給について

5月30日: ①会長及び副会長の選出並びに担当職務の分担, ②会務分担規程の変更

7月19日: ①入会員の承認, ②有功会員候補者の承認, ③化学と生物誌のクリアファイル(原稿謝礼)の更新(再), ④2020年度大会(福岡)における本部企画シンポジウム, ⑤2020年度大会(福岡)の運営委託契約, ⑥委員及び幹事規程の変更, ⑦外部団体の理事の選出

1月10日: ①入会員の承認, ②令和元年台風第19号に伴う特別措置, ③英文誌BBBの出版委託契約, ④和文誌化学と生物の冊子体廃止時期の見直し, ⑤2022年度大会以降の運営業者選定の一般競争入札の実施, ⑥各種表彰の承認, ⑦各種助成金の承認, ⑧各種規程・規則の変更, ⑨2020年度事業計画(第一次)案, ⑩2020年度予算(第一次)案, ⑪事務局人事・初任給について

2月14日: ①入会員の承認, ②英文誌BBBの出版委託契約, ③2022年度大会以降の運営業者選定の一般競争入札の実施, ④日本農芸化学会功績賞受賞題目の変更承認, ⑤

授賞選考委員会委員の改選, ⑥女性研究者賞の賞金新設・女性研究者向け助成金の制度変更, ⑦第73回国際会議出席費補助金の承認, ⑧SNS利用規程の新設, ⑨2020年度の理事会開催計画, ⑩JBA との共同主催シンポジウム(ゲノム編集), ⑪2020年度事業計画(最終案), ⑫2020年度収支予算(最終案)

・授賞選考委員会(2回)

10月25日: ①日本農芸化学会賞・日本農芸化学会功績賞・日本農学賞本会推薦候補者の選考

12月13日: ①農芸化学技術賞・農芸化学奨励賞の選考

・学術活動強化委員会(1回)

3月27日: ①学術活動強化委員長の選出, ②次年度の運営体制, ③各種報告, ④今後の活動について

・学術活動強化委員会総務会

10月12日: 台風19号のため開催中止

・和文誌編集委員会(3回)

3月26日: ①和文誌編集委員の紹介, ②「化学と生物」誌の現状について, ③編集委員会の開催について, ④和文誌の編集について

5月24日: ①推薦課題の可否, ②科学的な記述の基準について, ③査読担当について, ④追悼文の掲載位置, ⑤WEB版の活用, ⑥記事依頼要項の改定

12月6日: ①推薦課題の可否, ②「化学と生物」冊子体の廃止とオンライン冊子の整備

・英文誌編集委員会(1回)

3月24日: ①BBB論文賞について, ②Most Cited Awardについて

・英文誌編集総務会(2回)

8月6日: ①preprint serverで公開された論文の扱い, ②投稿システムの整備, ③Most-cited awardの選出基準, ④来年の大会時のランチョンセミナー等の企画, ⑤100周年記念特集号の検討

12月23日: ①2019年BBB論文賞の選考, ②2019年Most-Cited Paper AwardおよびMost-Cited Review Awardの選考, ③BBB引用促進について

・産学官学術交流委員会(4回)

3月26日: ①今後の活動方針について

6月21日: ①本日の委員会の主旨, ②ベンチャー・OIに関する事例・情報共有, ③本日のまとめ

9月27日: ①第14回企画賞和文誌推薦, ②企画賞改定, ③2019年度さんわか活動計画案, ④さんわか2018年度決算報告, 2019年度予算執行状況, 2020年度予算計画

12月2日: ①第17回農芸化学研究企画賞の最終選考, ②第2回農芸化学中小企業産学・産官連携研究助成の選考, ③2020年度予算案の承認, ④産学官若手交流会(さんわか)活動報告/計画, 2020年度産学官学術交流フォーラム準備状況, 2020年度産学官学術交流フォーラム準備状況, ⑤2020年度福岡大会におけるピッチ発表試行

・広報委員会(3回)

3月26日: ①研究室検索サイトについて, ②学会HP英語版充実化について

7月17日: ①研究室検索サイトについて, ②学会HP英語版充実化について

11月26日: ①農芸化学関連全国大学・大学院研究科・専攻一覧データベースについて, ②SNSの活用について, ③2020年度活動計画案・予算案, ④支部大会案内HP英語版について

・財務委員会(5回)

5月20日: ①平成30年7月豪雨の会費減免申請報告, ②2018年度決算報告・個人賛助金報告, ③会費納入方法の新設(口座振替)登録状況報告, ④化学と生物誌の価格改定後の推移, ⑤化学と生物誌の謝礼(クリアファイル更新), ⑥化学と生物誌の外販卸価格値上げ, ⑦小宮山印刷における化学と生物誌の在庫(貯蔵品)処分, ⑧監査契約の更新, ⑨会計関連業務の外部委託内容の変更, ⑩事務局人事・給与, ⑪2019年度大会アンケート実施案, ⑫大会プログラム集冊子体発行の代替案の検討, ⑬2021年度大会(仙台)の運営業者の分担案の検討, ⑭ウェブサイト, ニュースメール等のバイリンガル化, ⑮男女共同参画学協会幹事学会の引き受けについて

7月12日: ①化学と生物誌の謝礼(クリアファイルの更新), ②大会参加証の変更案(PDF化), ③大会プログラム集冊子体発行の代替案, ④事業別経費削減案, ⑤男女共同参画学協会連絡会の幹事学会の引き受け(報告), ⑥創立100周年記念事業組織委員会WG発足(報告), ⑦2020年度大会(福岡)の準備状況, ⑧2020年度大会参加費の承認手続き, ⑨2020年度大会の本部企画シンポジウム, ⑩2020年度大会の運営委託契約(①近ツリ, ②③エーイー企画), ⑪農芸化学女性研究者賞等選考委員候補者, ⑫委員及び幹事規程の変更案, ⑬中四国支部特定資産の取崩しについて, ⑭事務局人事

10月16日: ①BBB出版委託契約業者の追加, ②BBB論文投稿の事務局における受付業務の外部委託化, ③和文誌オンライン化(冊子体廃止の手続き), ④事業別予算案作成方針, ⑤2020年度大会(福岡)関連(1)輸送計画(2)参加費の金額(3)ジュニア農芸化学会への旅費補助(博多駅からバスチャーターを含む)(4)予算案の承認(5)参加証デザイン案(大会/懇親会)(6)企業説明会概要・予算案, ⑥今後の大会事業(1)非会員大会シンポジストの旅費及び参加費補助(2)2022年度大会運営委託業者の選定スケジュール案, ⑦表彰事業・助成事業関連(1)新しい農芸化学研究企画賞(2)ピッチ発表会の開催(3)女性研究者賞等の非会員からの募集, ⑧広報活動関連(1)下部組織WGの新設と目的(学会名SNSの統一化)(2)学会名の英名(nougei/nōgei/nogei), ⑨その他庶務会計関連(1)旅費宿泊費規程の変更(宿泊費上限の引き上げ)(2)未納退会者への退会年度までの会費請求, ⑩事務局関連(1)事務局人事(2)担当主幹の変更(3)正職員の就

業規則変更 (4) 契約職員の就業規則変更 (5) 給与規程の変更

12月26日：①新Web会議システム (Zoom) デモンストラーション、②2020年度大会 (福岡) 関連 (1) 輸送計画 (①乗降場所、②交通案内) (2) 大会参加証用ネームケース、③英文誌事業関連 (1) 出版委託契約業者の検討、④2020年度予算案 (1) 和文誌冊子体廃止時期の延期 (2) 2020年度予算第一次案 (①全体、②事業別・100周年、③支部別、④大会事業、⑤人件費予測)、⑤事務局関連 (1) 事務局人事 (2) 契約職員の就業規則変更

2月7日：①大会事業関連 (1) 輸送計画確定 (①乗降場所、②交通案内、③路線バス時刻表、④写真) (2) ①参加証デザイン②QRコードリーダー③ランチョンセミナー事前抽選 (3) 大会プログラム集の冊子印刷と郵送 (4) 入札 (①運営公告、②運営仕様書、③展示会公告、④展示会仕様書)、②英文誌事業関連 (1) 出版委託契約業者の選定 (2) オンデマンド印刷契約 (法人会員向け冊子印刷)、③講演会事業関連 (1) JBA との共同主催シンポジウム (ゲノム編集の特許対応)、④表彰事業・助成事業関連 (1) 女性研究者賞の賞金新設・女性研究者向け助成金の制度変更、⑤理事会関連 (1) 理事会 (財務委員会) 開催計画 (2020年7月以降) (2) 理事会陪席者 (副支部長、委員会委員長、WGリーダー)、⑥事務局関連 (1) 事務局人事、⑦2020年度予算案 (1) 2020年度予算最終案 (①全体、②大会事業、③事業費、④人件費予測)

・JABEE対応委員会 (1回)

3月24日：①2019年度の活動方針

・ダイバーシティ推進委員会 (1回)

3月27日：①連絡会運営委員会について、②連絡会シンポジウムについて、③福岡大会男女ランチョンシンポジウムの検討、④女子中高生夏の学校への参加、⑤連絡会幹事学会の業務分担の検討、⑥農芸化学女性研究者賞等授賞選考委員の推薦について

・農芸化学女性賞等授賞選考委員会 (1回)

12月23日：①農芸化学女性研究者賞・農芸化学若手女性研究者賞・農芸化学女性企業研究者賞の選考

・創立100周年記念事業組織委員会 (2回)

8月27日：①出版関係事業についての議論、②式典の開催について

1月22日：①100周年アンケート、②記念誌第1部の内容

【会員の状況】

2019年度 (2020年2月末現在) の会員数は次のとおりである。

| | 2019年度 | 2018年度 | 増減 |
|--------|--------|--------|------|
| 名誉会員 | 16 | 15 | 1 |
| 有功会員 | 216 | 214 | 2 |
| シニア会員 | 288 | 326 | -38 |
| 一般会員 | 6,833 | 6,787 | 46 |
| 教育会員 | 96 | 92 | 4 |
| 学生会員 | 2,606 | 2,642 | -36 |
| ジュニア会員 | 9 | 0 | 9 |
| 国外会員 | 50 | 57 | -7 |
| 団体会員 | 251 | 262 | -11 |
| 賛助会員 | 98 | 97 | 1 |
| (口数) | (191) | (196) | (-5) |
| 合計 | 10,463 | 10,492 | -29 |

(2020年2月末現在)

| 会員種別 | 名誉 | 有功 | シニア | 一般 | 教育 | 学生 | ジュニア | 国外 | 団体 | 賛助 (口数) | 小計 |
|-------|----|-----|-----|-------|----|-------|------|----|-----|------------|--------|
| 前年2月末 | 15 | 214 | 326 | 6,787 | 92 | 2,642 | 0 | 57 | 262 | 97 (196) | 10,492 |
| 北海道支部 | 0 | 11 | 7 | 250 | 2 | 115 | 0 | 0 | 6 | 3 (3) | 394 |
| 東北支部 | 0 | 9 | 13 | 362 | 9 | 197 | 0 | 0 | 18 | 1 (1) | 609 |
| 関東支部 | 8 | 103 | 132 | 2,837 | 36 | 988 | 9 | 0 | 116 | 61 (132) | 4,290 |
| 中部支部 | 2 | 13 | 31 | 878 | 11 | 395 | 0 | 0 | 37 | 9 (18) | 1,376 |
| 関西支部 | 5 | 48 | 69 | 1,347 | 16 | 507 | 0 | 0 | 38 | 16 (29) | 2,046 |
| 中四国支部 | 0 | 16 | 14 | 656 | 11 | 237 | 0 | 0 | 24 | 5 (5) | 963 |
| 西日本支部 | 0 | 16 | 22 | 492 | 11 | 166 | 0 | 0 | 12 | 3 (3) | 722 |
| 国外 | 1 | 0 | 0 | 11 | 0 | 1 | 0 | 50 | 0 | 0 | 63 |
| 合計 | 16 | 216 | 288 | 6,833 | 96 | 2,606 | 9 | 50 | 251 | 98 (191) | 10,463 |
| 増減 | 1 | 2 | -38 | 46 | 4 | -36 | 9 | -7 | -11 | 1 (-5) | -29 |

| | | | | | | | | | | | |
|-------------------|----|----|-----|------|----|------|----|----|-----|--------|-------|
| 入会 | 0 | 0 | 0 | 251 | 5 | 870 | 4 | 3 | 0 | 1 (1) | 1,134 |
| 復会 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 会員種別変更 | 2 | 11 | 11 | 633 | 2 | -665 | 6 | 0 | — | — | — |
| 休会 | 0 | 0 | -1 | -3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | -4 |
| 退会 | — | — | -41 | -243 | -3 | -189 | -1 | -2 | -9 | 0 | -488 |
| 会費未納退会 | — | — | 0 | -86 | 0 | -46 | 0 | -2 | -2 | 0 | -136 |
| 会費滞納による 会員資格停止 | — | — | -3 | -499 | 0 | -6 | 0 | -6 | 0 | 0 | -514 |
| 逝去 | -1 | -9 | -4 | -8 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | -22 |
| 口数変更 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 0 (-6) | — |
| 合計 | 1 | 2 | -38 | 46 | 4 | -36 | 9 | -7 | -11 | 1 (-5) | -29 |

新規入会者の入会年度内訳

| 会員種別 | 名誉 | 有功 | シニア | 一般 | 教育 | 学生 | ジュニア | 国外 | 団体 | 賛助 | 小計 |
|----------|----|----|-----|-----|----|-----|------|----|----|----|-------|
| 2019年度入会 | 0 | 0 | 0 | 103 | 5 | 165 | 2 | 0 | 0 | 0 | 275 |
| 2020年度入会 | 0 | 0 | 0 | 148 | 0 | 705 | 2 | 3 | 0 | 1 | 859 |
| 計 | 0 | 0 | 0 | 251 | 5 | 870 | 4 | 3 | 0 | 1 | 1,134 |